

# スクールカウンセリングに関する国際比較研究

伊藤 亜矢子 / ITO, Ayako

生活科学部人間生活学科

■専門分野 学校臨床心理学  
■キーワード スクールカウンセリング、国際比較、コミュニティ・アプローチ

連絡先

## 研究内容

### ■概要（背景・目的・内容）

米国 ASCA の Carol Dahir 氏や韓国 Sang Min Lee 氏など、海外のスクールカウンセリング研究者と共同研究・実践交流を継続的に行い、日本におけるスクールカウンセリングの独自性や可能性について検討した。特に 2013 年度には、スクールカウンセラーへの全国調査を日韓で行った。

また、全校型スクールカウンセリングのツール開発の一環として、中学校版学級風土質問紙の全国基準値再収集のため、15 年ぶりの全国再調査を行った。

2014 年度にはこれらの分析を行い（継続中）、スクールカウンセラー実践力育成プログラム作成の一環として研究会などを行った。

### ■応用・将来展望

子どもの成長を支える環境、特に学校環境づくりに向けて、スクールカウンセリングの国際比較や予防型・全校型ツールの開発、学級風土コンサルテーションなどを今後も継続する予定です。2013 年度には、国際比較による東アジア型スクールカウンセラーの全校支援モデルとツールの構築（科学研究費基盤 (C) 研究課題番号：23530891）を終了し、2014 年度からは、「国際比較とエビデンスによる日本型スクールカウンセラーの実践力育成プログラム」（科学研究費基盤 (C) 研究課題番号：26380921）を行っています。

### ■活動実績

## 主要研究成果

・伊藤亜矢子 (2015)。「第 10 章 海外のスクールカウンセリング」倉光修（編著）『学校臨床心理学・地域援助特論（15）』放送大学教育振興会出版部 176-190。

・伊藤亜矢子 (2015)。「安心・安全な学校体制の準備編 スクールカウンセラーの積極的活用アイデア」『提言 スクールカウンセラーの特性を理解したうえでまずは管理職が積極的な活用を』総合教育技術 69(15), 22-25. 2015 年 3 月 小学館。

・Ito, A. (2014). "School Counselor's roles and challenges in Japan." The Journal of Asia Pacific Counseling, Vol.4, No.2, 113-129.

・Choi, H., Rhee, E., Ito, A., & Lee, S. (2014). "Cross-Cultural Validations of the Factor Structure for the Korean Version of Classroom Climate Inventory (CCI)." Japanese Psychological Research, 56(4), 349-360.

・伊藤亜矢子 (2014)。「効果的なスクールカウンセリングに必要な専門性の探索－スクールカウンセラー調査の結果から－」『日本心理臨床学会第 33 回大会発表論文集』

・Ito, A. (2014). School counseling in Japan: Collaboration with teachers using special knowledge of clinical psychology is unique to school counseling in Japan. Cyber-symposium on "school counseling around world". The conference of Korean Counseling Association, August 13th.

・伊藤亜矢子 (2014)。「実践モデルの概要」「ツールの概要」「SC 実践のワークシート」「学級風土質問紙 CCI(Classroom Climate Inventory)」『国際比較による東アジア型スクールカウンセラーの全校支援モデルとツールの構築(ツール集) 平成 23～25 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 課題番号 23530891』